

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第79回）に係る面談

2. 日時：令和2年3月3日（火） 13時40分～16時50分

3. 場所：原子力規制庁 18階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

竹内室長、澁谷企画調査官、林田管理官補佐、宇野課長補佐、松井安全審査官、高松専門職、山中審査係、田上審査係、高木技術参与

地震・津波審査部門

江寄企画調査官、名倉安全管理調査官、岸野主任安全審査官

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当者19名

国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 担当者 1名

5. 要旨

東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、次回（第79回）特定原子力施設監視・評価検討会（以下「検討会」という。）の議題に関し、以下の内容について説明を受けた。

- 放射性物質の分析施設の設置
- 3、4号機原子炉建屋（以下「R/B」という。）の耐震性評価
- 敷地全体の地下水のモニタリング方針の検討状況
- 1/2号機SGTS配管の撤去に向けた現場調査の計画
- 構内設備等の長期保守管理計画の策定に向けた検討状況
- 多核種除去設備等処理水中の全放射能濃度と主要7核種の濃度の合計値との乖離に係る原因調査の結果
- 昨年11月に発生した事故故障報告2件に係る対応状況等
- 廃スラッジ除去装置の設置に向けた進捗状況

原子力規制庁から、以下についてコメントした。

【放射性物質の分析施設の設置について】

- 各種分析試料を分析する施設の確保、分析を実施する上で必要な体制の整備等の全体的な方針について説明すること。

【3、4号機原子炉建屋の耐震性評価】

- 床及び梁の損傷が建屋の耐震性に及ぼす影響について説明すること。

- 耐震評価における床、梁の剛性の設定の妥当性について、現状で把握している建屋内の損傷状況を踏まえて説明すること。また、耐震評価の保守性について、建屋内の損傷状況、瓦礫の堆積量等に係る現状と評価条件との相違を踏まえて説明すること。
- 建屋内の損傷状態の調査について、今後の方針を説明すること。

【地下水のモニタリングについて】

- これまでのモニタリング結果を踏まえた実施した各種対策の効果及び今後実施予定の対策によって得られる効果の予測を説明し、それらを踏まえ今後のモニタリングの方針を説明すること。

【6号機RHRポンプ圧力抑制室吸込弁ハンドホイールシャフト折損事象について】

- 増し締めができない当該弁の増し締めを実施した事象についての再発防止対策について、原因を詳細に分析し、技術情報の連絡の仕方、活用の仕方及び技術能力の向上等含めて多角的に検討すること

○東京電力から、コメントについて検討の上、検討会に向けて対応が必要なものについては、適切に対応する旨回答があった。

6. 資料

- 放射性物質分析施設の設置について（案）
- 福島第一原子力発電所3号機、4号機原子炉建屋の耐震性評価について（案）
- 敷地全体の地下水モニタリング方針の検討状況について（案）
- 多核種除去設備等処理水の全ベータ値と主要7核種合計値とのかい離調査結果について（案）
- 福島第一原子力発電所構内設備等の長期保守管理計画の策定に向けた検討状況について（案）
- 1/2号機SGTS配管撤去に向けた現場調査の実施について（案）
- 事故故障報告2件 2/17監視評価検討会における質問回答（案）
- 福島第一原子力発電所 中期的リスクの低減目標マップを踏まえた検討指示事項に対する工程表（案）
- 過去のコメントへの対応状況